



芳工連だより

‘20 / 01
第187号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 渡辺 信夫



新年あけましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。

本年も芳工連の活動にご理解ご協力をお願い申し上げます。

芳賀町工業団地連絡協議会 役職員一同



新年のご挨拶

芳賀町工業団地連絡協議会 会長 細岡 大

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい令和2年の初春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、芳工連創立 30 周年記念事業を盛大に開催できましたこと改めてお礼申し上げます。30年の歴史は、地域と企業との絆があって歩むことができた歴史です。これからも地域と企業が安定した成長を持続できるよう、皆様のご支援をいただきながら、皆様と共に活動していきたいと思っております。

芳工連にとって最重点課題としていたLRT事業に伴う交通渋滞回避につきましては、私たちの要望に沿った「主要地方道宇都宮向田線大塚工区・平出板戸工区」と「一般国道408号宇都宮高根沢バイパス」が、当初計画より2年前倒しで完成できました。これまでの諸先輩の皆様のご努力が実を結んだ年だったと改めて思いました。

また、芳工連の活動が芳賀町をはじめ近隣地域の皆様のご支援ならびに会員企業様のご協力のもと、各部会を中心に実行できましたことをここにお礼申し上げます。

総務企画部会では、人材育成研修や会員相互の親睦を図る研修会、スポーツ大会を開催し、会員企業の皆様に多数参加いただき好評を得ました。環境整備部会では、クリーン作戦などの環境美化活動を全立地企業様のご理解とご協力で実施するとともに、幹線道路の環境維持につきましても、行政と連携を図りながら適時適切に対応してまいりました。安全衛生部会では、4回の普通救命講習会の開催、健康づくりセミナー、安全活動事例発表会、危険予知訓練（KYT）研修会など労働安全衛生の向上に直結する活動を実施することができました。交通防犯部会では、町交通安全対策連絡協議会との連携のもと、交通安全県民総ぐるみ運動期間中の交通安全街頭広報活動を実施したほか、会員企業様に対する交通安全講習会などによる交通安全啓発活動を展開しました。

このように地域の皆様に支えられている芳工連は「安全・安心な工業団地づくり」を中心に今年も活動してまいりますので、昨年同様に多大なるご協力をお願いいたします。そして、皆様と共に良い年にしていきたいと思っております。

結びに、会員企業様の益々のご繁栄を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



■ 役員会 創立 30 周年記念事業の決算など承認

第 3 回役員会は 12 月 19 日、役員 11 名と正副
部会長 10 名の出席を得て開催しました。

細岡会長は挨拶で「今年の芳工連活動を振り返っ
て見ますと、創立 30 周年記念事業を盛大に開催し
成功裡に収めることができましたことを改めてお
礼申し上げます。何度も申し上げましたが、30 年
の歴史は地域と企業との絆があって歩むことがで
きた歴史です。これからも地域と企業が安定した成
長を持続できるよう、皆様と共に活動していきたい
と思います。

そして、芳工連のエンジンとなる 4 部会は、充実した内容で計画どおり事業を執行いただき、そ
の成果は期待どおり、或いはそれ以上の成果を得ることができたと思っています。

今年度もあと僅かとなりましたが、予定の事業をすべて完遂させた上で、次年度への弾みとする
べく検証・評価についてもよろしく願いいたします」などと挨拶しました。

上程した 4 議案は次のように決定しました。

- 1 「創立 30 周年記念事業の決算報告について」は、予算の範囲内で事業が執行されたことを承認
されました。
- 2 「賀詞交歓会の開催について」は、1 月 24 日(金)午後 5 時からホテル東日本宇都宮において開
催することから、次第、役割等を決定しました。
- 3 「県知事との意見交換会について」は、団管連主催で 3 月 2 日(月)午後 4 時から宇都宮市内で開
催することから、1 月 20 日までに会員企業様から質問・要望をいただくことが承認されました。
- 4 「全国安全衛生大会参加費補助金交付要綱・要領の一部改正について」は、要綱中「全国大会後
3 か月までに芳工連が主催する事業の場で発表を実施」を「全国大会後、直近の安全衛生活動事
例発表会までに実施」に、要領中「宿泊費 1 泊分 12,000 円を上限」を「宿泊費 1 泊 12,000
円まで、2 泊を上限」に改め、今年度の補助金から実施することで承認されました。
- 5 「各部会の事業実績と今後の計画について」は、各部会長から主要事業の実績等について説明が
あり、計画した事業は順調に執行でき、充実した内容だったことを評価いただきました。



■ 初級管理者セミナーを開催

総務企画部会が主催する初級管理者セミナーを 11
月 27 日開催しました。9 社から 19 名が参加し、半日
の日程でしたが中身の濃い充実した研修を受講いた
だきました。

講師は研修会の冒頭で「コミュニケーションの取りづ
らい現在、部下をやる気にさせる上司力向上が課題です。
本日はリーダーの役割、コンセンサス、ソーシャルスタ
イルについて研修します。意見の合意は、説得ではなく
納得すること。また、相手を見て、相手によって指導の



仕方を変えて対応しなければなりません」などと、研修の核となる部分を伝えました。そして、示唆に富んだ具体的事例を織り交ぜ、分かりやすく説得力のある講義をしていただきました。

受講者に記述いただいたアンケートに「人を理解し、その特性に即した共有や導きの仕方があることを学んだ」、「その人に合った説明の仕方、また納得してもらうことが大切なことを学んだ」などの気づきが記述されていました。

また、「コミュニケーションをとり相手を知る努力の実践」、「納得を得られる話し方の実践」などの決意表明の記述もあって、受講者の意識がステップアップしていることがうかがえます。

業務多忙とは思いますが、研修で得たことを意識して実践し、部下に頼られ、上司に信頼される良き管理者となっていただきたいと思います。



■ 危険予知訓練（KYT）研修会を開催

安全衛生部会主催による危険予知訓練（KYT）研修会を12月13日、12社26名の参加により開催しました。

小堀洋平講師（（株）ベストロジ栃木）を中心に6人のコーディネーターが、6グループに分かれた受講者を丁寧に指導しました。

平成26年度から継続してきたこの研修会は、前年度の受講者の中からコーディネーターを選考し、受講者と共に学び、再認識していただくことで、研修内容の充実も図っています。



真岡労働基準監督署の大貴重範署長は「最近ではリスクアセスメントが主流だが、ベースになるのはKY活動です。そして危険を予知するトレーニングが本日のKYT研修です。目指すところは労災0です。KYT研修は職場全体の安全衛生対策に役立つ重要な取り組みとなるので、職場に持ち帰り実践していただきたい」などと来賓の挨拶をしました。

小堀洋平副会長兼講師は「私もこの研修会を受講し、指差し呼称、指差し唱和などを職場に持ち帰り、労働災害防止対策に取り組んできました。本日は一日コースで中身の濃い研修となりますが一緒に学び、皆さん全員が来年度のコーディネーターをやりたいといわれる研修にしたい」などと開講の挨拶をしました。

研修は、「指差し呼称」、「健康問いかけKY」の実践方法や進め方を教えるビデオ映像からスタートしました。さらに、コーディネーターから詳しい説明を聞き、タッチアンドコールなど指差し呼称演連を行ないまし



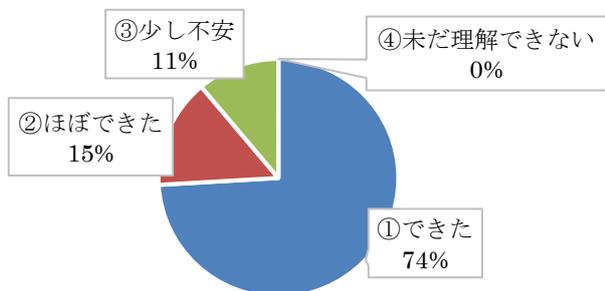
た。午後は「危険要因の捉え方と表現の仕方」を受講した後、「KYT基礎4ラウンド法」を学びました。

全体終礼は、各グループ幹事の挨拶、各コーディネーターからアドバイスをいただき、修了証の授与で終了しました。

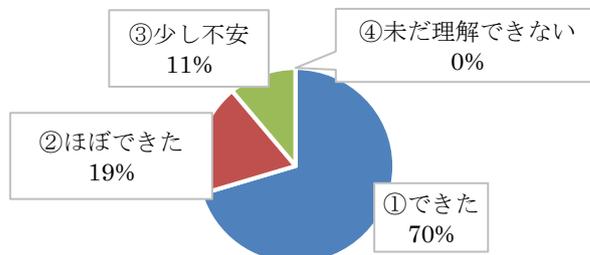
山田将之安全衛生部会長は「職場の安全対策は人間尊重が出発点。この理念の推進、実現のための手法の一つがKYT。労災を防ぐためKYTが大切であることを改めて感じました。本日はご多用な中、講師を務めていただいた小堀様、コーディネーターとしてお手伝いいただいた6名の皆様に心からお礼を申し上げます」などと閉講の挨拶をしました。

受講者からは「異業種の方の意見が聞けて新鮮だった」、「KYTの方法が理解でき、大変ためになりました」、「社内でもKYT活動を広めていきたい」、「普段、危険予知を考えながら仕事をしていないが、自分が行っている業務には多くの危険が潜んでいるのではと改めて思った」などの意見が寄せられました。なお、アンケートの結果は、以下のとおりです。

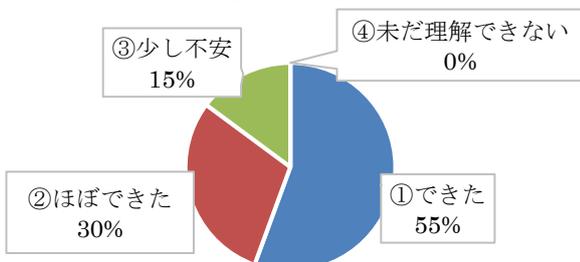
1.指差し呼称は、理解できましたか？



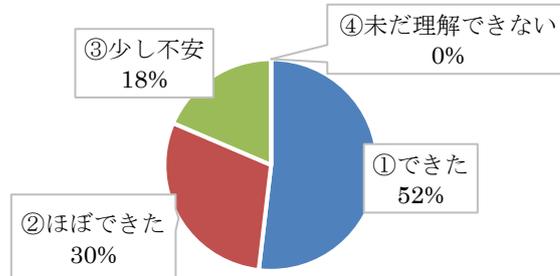
2.健康問いかけKYについて、理解できましたか？



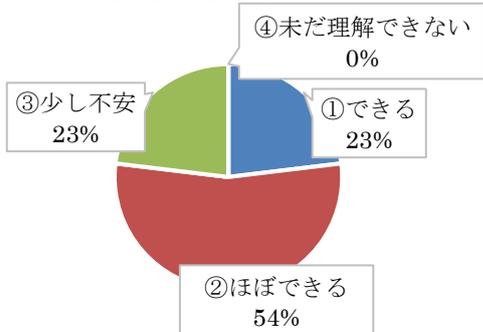
3.KYT基礎4ラウンド法について、理解できましたか？



4.ワンポイントKYTについては、理解できましたか？



5.今日一日の内容は、身について職場で実践できますか？



■ 全体研修会を開催

総務企画部会による全体研修会を11月29日、20社37名の参加により開催しました。この研修会は会員企業の皆様が製造業など先進事業所を視察研修することで、異業種の戦略を学び、各企業における事業の参考とするものです。併せて、会員企業相互の交流と親睦を図ることを目的としています。

今年は南アルプスの雪景色をバックに、山梨県にあるモンデ酒造（ワイン工場）と桔梗信玄餅工場を見学、そして甲州名物ほうとうランチに舌鼓をうってきました。

小春日和の天気恵まれ、予定どおり管理センターを出発、東北自動車道、圏央道、中央自動車道を通り順調に甲府へと向かいました。車中では「北関東横断ウルトラクイズ」と題して、芳工連創立30周年記念「30年の歩み」DVDを鑑賞し、その中から三択問題など計10問が出され、1問ごとの正解発表に一喜一憂しながら和やかな雰囲気研修がスタートしました。

予定どおり「モンデ酒造」に到着後、工場内に案内され瓶詰工程や音楽をかけてワイン樽を寝かしている部屋などを視察しました。また、併設している直売所で10数種類の無料試飲やショッピングを楽しみました。

昼食は、カボチャがたくさん入った熱々の甲州名物「ほうとう」を堪能しました。

続いて「桔梗信玄餅」工場の見学です。最初に大人気の信玄餅の詰め放題の部屋に案内され、個々に渡された専用のビニール袋をそれぞれが丁寧に上下左右に伸ばして、いよいよ詰め放題に挑戦です。1個150円の信玄餅を袋いっぱい詰めても220円のため、参加者全員必死に詰めていました。最高は20個詰めた川崎 章様でした。なお、この詰め放題は食品ロス対策の一環だそうです。その後工場内に案内され、製造工程を見学しましたが、信玄餅は誕生当初と変わらず、人の手によって一つ一つ包装されていました。

復路の車中では、往路の際に行ったクイズの結果発表があり、第3位 水野孝一様、第2位 多部田 学様、見事優勝は宮田めぐみ様でした。3人の方にはモンデ酒造で購入したワインが贈られました。

その後の車中では、ガイドさん出題のクイズにアルコールも手伝って珍回答を連発するなど、笑いとお声絶えない、楽しい一時を過ごすことができました。

全体研修会を通じて、会員相互の親睦と交流を深めることができましたので、更に会員企業の連携が強まり、活動の充実に活かせるものと思います。



■ 第 59 回ゴルフ大会を開催

総務企画部会によるゴルフ大会を 12 月 7 日、12 社から精鋭 23 名が東雲ゴルフクラブに集い開催されました。二十四節気の大雪のこの日、南関東では初雪を観測した曇天の寒さ中、28 歳の若手から 88 歳の超ベテランまで幅広い年齢の参加があり、和気あいあいとした雰囲気の中で熱いプレーを展開しました。

コース周囲は、紅葉に染まるナラ、クヌギなどの落葉樹がグリーンの芝の緑と見事なコントラストを演出していました。ナイスショットをしたにも関わらずフェアウェイを突き抜け、落葉の中に入りロストボールになるハプニングがあるなど、全体的に難易度が高いコースでした。

この難しいコースを制し優勝したのは、山王テック(株)の岡林誠様、準優勝は大星電機(株)の沖田善一郎様、第 3 位は日本梱包運輸倉庫(株)の直井正幸様でした。

優勝した岡林 誠様は「初出場で優勝できるとは思わなかった。次回も参加して 2 連覇したい」とコメントを披露しました。また、準優勝した沖田善一郎様も初出場でした。

豪華賞品のご提供は、山王テック(株)様、(株)ホンダテクノフォート様、協永堂印刷(株)様、(株)ベストロジ栃木様、エヌケイエンジニアリング (株)様、(株)オートテックジャパン様からでした。有難うございました。



優勝した岡林様(右)と中山総務企画部会長

■ 芳賀郡市公衆衛生大会

11 月 28 日、第 53 回芳賀郡市公衆衛生大会が栃木県庁芳賀庁舎で開催されました。芳賀郡市公衆衛生協会 小川松夫会長の挨拶の後、医療・栄養改善・食品衛生など各分野で功績のあった方々の表彰等があり、最後に「1 健康づくり実践の推進、2 高齢者も生活しやすい地域づくりの推進、3 人にやさしい環境づくりの推進、により公衆衛生の向上に努力する」大会宣言を富永英夫芳工連副会長が行い、参加者全員の拍手で承認されました。



■ お知らせ

管理センター前交差点の信号機は、11月25日から反対車線の信号機の裏側にも設置されました。なお、芳賀台及びゆいの杜境の交差点信号機には、LRT開通時に設置するとの情報です。

芳工連日誌

【12月の実績】

7日 第59回ゴルフ大会
11～31日 年末交通安全県民総ぐるみ運動
13日 危険予知訓練(KYT)研修会
19日 第3回役員会
25日 資源ごみ回収日
27日 仕事納め

【1月の予定】

6日 仕事始め
8日 芳賀町賀詞交歓会
24日 芳工連賀詞交歓会
22日 資源ごみ回収日
28日 普通救命講習会